

今週のお祈り 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日特祷

永遠にいます全能の神よ、あなたは僕らに恵みを与え、まことの信仰をもって、栄光ある三位一体の神をあがめることができるようにしてくださいました。どうかこの信仰に堅く立って生き、すべての災いに打ち勝つことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 比ちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 200

発行日
2024年
5月26日

先週の「聖霊降臨日(ペンテコステ)」に続き、今日は「三位一体主日」という日曜日です。父なる神様、子なるイエス様、そして私たちに注がれている聖霊の三つは一体と覚える日です。心に留めてお祈りしましょう！



今週の聖書 ヨハネによる福音書 3:1-16

1 さて、ファリサイ派の一人で、ニコデモと言う人がいた。ユダヤ人たちの指導者であった。2 この人が、夜イエスののもとに来て言った。「先生、私どもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、誰も行うことはできないからです。」3 イエスは答えて言われた。「よくよく言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」4 ニコデモは言った。「年を取った者が、どうして生まれることができるでしょうか。」5 イエスはお母の胎に入って生まれることができるでしょうか。」5 イエスはお答えになった。「よくよく言っておく。誰でも水と霊から生まれ

聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」。このみ言葉は、神の救いの福音を一言で語っています。人が生きるには新鮮な空気と水が必要です。与えられている空気や水を体 に入ることが必要です。ほんとうに新しい「救いの命」を生きるとは、神の聖霊と、尽きることのない命の水をいつでもいただいで生きることです。イエスさまの「十字架」は、神さまの豊かな約束の実現です。私たちは、キリストの愛の恵みと祝福に信頼して、喜びと希望のうちに、愛の十字架を仰いで、新しい命の自分を歩んで行きましょう。

なければ、神の国に入ることはできない。6 肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。7 『あなたがたは新たに生まれなければならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。8 風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。』9 するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。11 よくよく言っておく。私たちは知っていることを語り、見たことを証しているのに、あなたがたは私たちの証しを受け入れない。12 私が地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。13 天から降って来た者、すなわち人の子のほかに、天に上った者は誰もいない。14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。15 それは、信じる者が皆人の子によって永遠の命を得るためである。16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」